

つなぐ！むらづくり便り

中山間地域振興に役立つ情報を新潟県からお届けします！

ビレッジプラントークライブのご紹介

「取組のバトンをどう繋ぐ？どう受け取る？」をテーマに、地域づくりの専門家やビレッジプラン※実践組織の方をゲストに迎え、ビレッジプラン実践者から寄せられたお悩みを「お便り」として紹介するラジオ形式での意見交換を行いました。

今号は、その内容の一部をご紹介します！

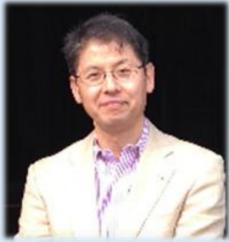
※ビレッジプランとは？

中山間地域の営農継続や集落機能の維持に向けて、将来プランの策定や活動の主体となる組織づくり、プランの実践を支援する県の取組。

【第1段：トコトン失敗から学ぶ！編】（7月24日開催）



プラン実践者からのお便り



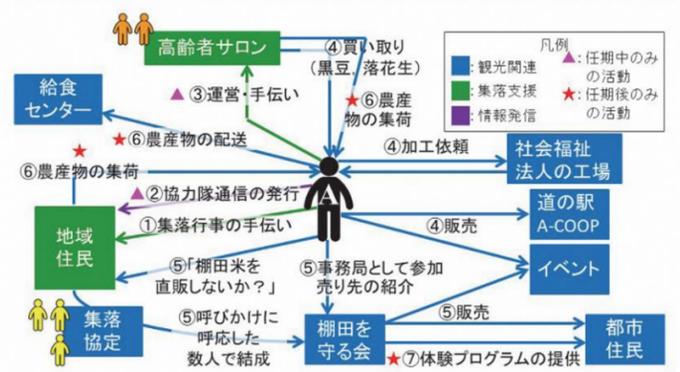
(一社) 持続可能な地域社会総合研究所 所長 藤山 浩 様

地域の担い手を求めて移住者を募集し、実際に移住いただいた方がいるが、**集落の担い手となってもらうために何をすべきか手探り状態**・・・

移住者だけに頼らず、地域住民を活動に巻き込むことで、**移住者が多角的な関係を持てるようにすることが大切！**

加えて、地域の子供達を活動に巻き込んでいけば、取組の一層の持続が期待できるのでは。

4.1 活動とネットワークの関係性



成功事例: 多角的な地域内関係性、後見人が大切

総研レポート「2022. 6. 3」 「地域おこし協力隊の現状と活動実態」
『第I部 山形大学 栗原良樹准教授 講演記録
「地域おこし協力隊の現状と課題」 (2021年4月27日)』より



担い手の立場からの意見としては、**子供の頃に親世代が設けてくれた村行事等が楽しかったことが記憶に残っている。**

自分達も「子供が帰りたくなる村」として地区を残したい、という想いでビレッジプランに取り組んでいる。



ビレッジプラン実践地区 南魚沼市今町地区
Village美女ん-いままち- 代表 桑原 亮 様



(一社) にいがた圏 代表理事 大塚 眞 様

具体的な支援や助言も良いが、**担い手の存在を地域みんなで共有できるようにすることも大切**なんですね！



プラン実践者
からのお便り



ビレッジプラン実践地区
関川村金俣地区
金俣開発部 代表 高橋 治彦 様

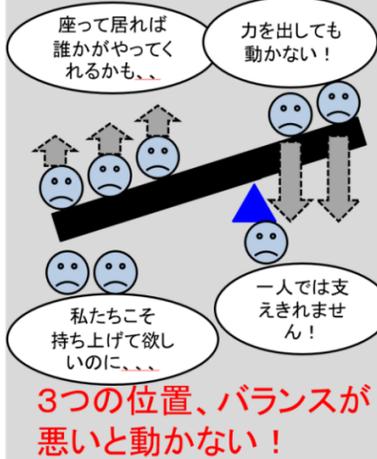
農業体験ツアーを実施するに当たっては協力者が必要だと思うが、
どのように関わっているのか教えて欲しい！

集落の人達や行政関係者などからご協力いただき運営している。
昼食の準備や農作業体験でのお手伝いなど、それぞれ得意な分野で活躍してもらっている。

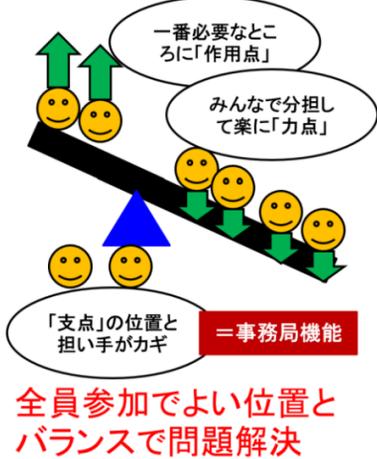


個別最適から全体最適まで～支点・力点・作用点編～

× 個別最適の追求



○ 全体最適の実現



金俣開発部の取組は、
テコの原理が上手く働いている！

支点は、金俣開発部
力点は、集落の人達
作用点は、ツアー参加者

3点のバランスを上手に取ってきていることが、
取組の継続に繋がっている。



(一社) 持続可能な
地域社会総合研究所
所長 藤山 浩 様



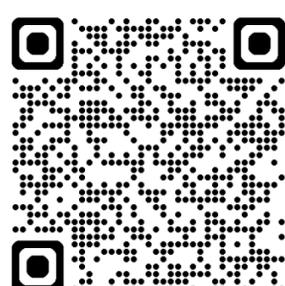
(一社) にいがた圏
代表理事 大塚 眞 様

「小さなところから、集落の皆さんに少しずつ協力をいただく」ということが成功のカギなんですね！

新潟県公式Youtubeでは、ビレッジプラントークライブのアーカイブ
を配信しています！続きはこちらをチェック！是非ご覧ください。



第1段は
こちらから
[https://
youtu.be/icTNmkPJKM4](https://youtu.be/icTNmkPJKM4)



第2段は
こちらから
[https://
youtu.be/YcyhrfY_UUI](https://youtu.be/YcyhrfY_UUI)